

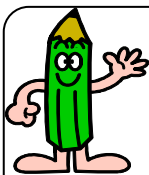


カンムリウミスズメ

門川町教育研究所

ふれあい

平成24年5月 NO2
発行 門川町教育研究所
所長 新原とも子
TEL 63-1566
五十鈴小学校内(教育相談室)



**新しい研究員が決まり、平成24年度の研究・実践がスタートしました。
教育研究所は、今年も、家庭教育に役立つ情報を発信します！**

今月は、新しい教育研究所のメンバーや研究内容と家庭学習の習慣づくりに役立つ「かどがわ家庭学習」と「かどがわ学びノート」の情報を紹介します。

委嘱状交付式

はじめに、本年度の6名の研究員に委嘱状が交付されたあと、第1回の研究員会を行いました。所長からは、研究員への激励の言葉とともに、本年度の研究課題についての話がありました。教育長から示された本年度の研究課題は、東日本大震災とともに問題になった「防災教育」とふるさと門川について学ぶ「ふるさと学習」です。この2つの課題に、これから、全力をあげて取り組んでいきます。



平成24年度委嘱状交付式

本年度の研究員

*本年度の教育研究所の所員一同です。よろしくお願いします。

職員	所属	氏名	職員	所属	氏名
所長	教育長	新原とも子	研究員	門川小学校	白田優
事務局員	教育総務課	和泉昭子	研究員	草川小学校	杉直樹
研究指導員	教育総務課	山本逸馬	研究員	五十鈴小学校	江藤建輔
研究主任	西門川小学校	山本和則	研究員	西門川中学校	日高宏
研究副主任	門川中学校	有蘭克広			

“かどがわ家庭学習”のやくそく

かどがわ家庭学習の方法をしっかり身に付けると、勉強がぐんぐんわかるようになり、毎日の授業が楽しくなります。授業と家庭学習をつなぐ「学びのサイクル」で、学力アップを目指しましょう。

- 1 学校の宿題は、必ず最初にすませましょう。
- 2 「かどがわ家庭学習」にしたがって、勉強を進めましょう。
- 3 「かどがわ学びノート」を使って、^{たくしゅう}宅習をしましょう。
- 4 必ず答え合わせをして、まちがえたところはやり直しましょう。
- 5 勉強したあとは、うちの人に見せてサインをもらいましょう。
- 6 学習ノートは、次の日、先生に見てもらいましょう。

家庭学習で、授業で習ったことを、もう一度繰り返し学習すると、勉強したことがしっかりわかるようになります。その時に役に立つ大切な学習方法が「ドリル学習」です。

教科書を何度も読んだり、漢字や計算を何度も繰り返し練習したりする「かどがわ家庭学習」で力をつけましょう。



“かどがわ学びノート”のやくそく

“かどがわ学びノート”を使った勉強では、1日2ページが目標です。
4つのコーナーに分けて、勉強するようにしましょう。(小学校例)

コーナーごとに勉強することを決めておくと、迷わずに勉強することができます。勉強方法が身に付くようになります。



※ 日付を書きましょう。 ※ 今日の勉強のめあてを書きましょう。 ①

《ドリル帳コーナー》

(ドリル帳を使って、授業と同じところを勉強しましょう。)

○ ページや問題の番号を入れるようにしましょう。

○ できなかったところをもう一度練習しましょう。

勉強したことがわかるように線を引きましょう。



- 漢字練習では
- ・ 読みがなと漢字をいっしょに書いて、練習しましょう。
 - ・ 漢字は、言葉のまとまりで練習しましょう。
- 算数の計算では
- ・ 式と計算のしかたも書きましょう。
 - ・ 計算のあとは消さないようにしましょう。
- できたら、丸つけをしましょう。

《授業の復習コーナー》

(授業で習ったことをもう一度勉強しましょう。)

○ 大切なところを声に出して読んだり、線を引いたりしましょう。

○ 教科書のページや問題の番号を入れるようにしましょう。



- 今日習ったことを、教科書やノートを見ながら、もう一度復習します。
- できたら、丸つけをしましょう。
- できなかったところを中心に勉強しましょう。
- できなかったところは、1回だけではなく、何回も書いて練習しましょう。

- 勉強する広さは、問題の数や書く量によって、ちょうどよい広さをとるようにしましょう。
- 解答のページを見て、答えを書かないようにしましょう。

1 ページ目は、その日の授業を中心に復習をします。新しく習った漢字や言葉、計算などをノートに何度も書いて覚えるようにします。その後、低学年ではうちの人に、高学年や中学生は、自分で丸付けやチェックをしましょう。

③ 《くりかえしコーナー》
(大切なことを、もう一度練習しましょう。)

○ 今までにわからなかった言葉や計算を何度も書きましょう。

○ 自分の苦手な勉強を中心にしましょう。



- 今までに習ったことで大切な言葉や計算などをもう一度練習しましょう。
- わすれてはいけないことを書きましょう。
- 苦手な教科を中心に勉強しましょう。
- できなかったところは、1回だけではなく、何回も書いて練習しましょう。

④ 《がんばりコーナー》
(自分で考えた勉強をしましょう。)

○ その日あったことや考えたことを日記に書きましょう。

○ 自分でたりないと思う勉強をしましょう。



- 社会や理科などの勉強をしましょう。
- 自分の得意な勉強をしましょう。
- 辞書や資料で調べたことなどを書きましょう。
- 明日の勉強で予習したことを書きましょう。

※ここには、一言感想を書きましょう。うちの人にも一言書いてもらいましょう。

※うちの人のサイン

- 社会や理科などの勉強では、教科書の大切な図を写したり、大切な言葉を何回も書いて練習するなど、工夫しましょう。
- 教科書以外の勉強では、日記や読書の感想など、自分の考えを書くことなどを取り入れるようにしましょう。

2 ページ目は、これまでにわからなかったことや苦手な勉強、自分で考えた勉強をします。日記なども書きましょう。小学生は、うちの人の感想やサインを書いてもらうようにします。

子どもの教育や子育てで、悩んでいませんか？

困った時には、教育相談室に気軽に電話をしてください。

相談電話(門川町教育相談室)
63-1566

~~~~返信欄 (教育研究所便り「ふれあい」へのご意見やご感想をお聞かせください。)~~~~